

■ B.LEAGUE 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン改正箇所一覧
 ※表記誤りの修正や、軽微な表現変更については除きます

チャプター1

改正前	改正後	主旨
<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(1) 新型コロナウイルスについて</p> <p>※規定無し</p>	<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(1) 新型コロナウイルスについて</p> <p>⑤適切なマスクの着用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクは飛沫の拡散予防に有効で、「新しい生活様式」でも一人ひとりの基本的な感染対策として着用を求められています。ただし、マスクの着用方法を正しく行わない限り、期待される効果は薄れてしまいます。特に選手、チームスタッフ、フロントスタッフや公式戦の従事スタッフにおいては、選手が競技を行うとき以外は基本的にマスクを常時着用することとし、マスクを外す場合は会話を避けることを強く意識してください。 ・品質の確かな、できれば不織布のマスクを着用してください。 ・鼻の形に合わせ、隙間を塞いでください。あご下まで伸ばし、顔に隙間なくフィットさせるよう着用してください。 <p>※詳細は厚生労働省「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」のページを参照してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に会話時は必ず着用し、その際に鼻出しやあごマスクの状況を作らないよう注意してください。 ・着用したマスクの外側は触らず、着脱は紐を持って行ってください。 ・マスクの着用時は、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがありますので、一時的に外すことなどで対処してください。ただし、その場合もマスクを外す場合には、会話を控えてください。 ・こどものマスク着用については、厚生労働省の示すとおり、一律には着用を求めませんので、無理して着用をさせないよう配慮してください。特に2歳未満のこどものマスク着用は推奨されません。 ・新型コロナウイルス感染症のワクチンを接種した後であっても、感染リスクは完全に否定されていないため、マスク着用は継続して行ってください。 	<p>対策としての適切なマスク着用について明示・追加</p>
<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(2) 選手および組織に求められる感染予防（毎日の検温・体調報告・行動記録）</p> <p>発熱症状があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・37.5℃以上の発熱が2日間続いた場合は、自宅待機とし即座にBリーグへ報告してください。【リーグ統一】 <p>（平熱には個人差があるため平熱が低い方は、平熱プラス1.5度を基準とします。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寮生活者の場合、寮内で隔離をしてください。 ・選手は「ONE TAP」入力後クラブ体調管理者へ報告、クラブ体調管理者はBリーグに報告してください。 	<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(2) 選手および組織に求められる感染予防（毎日の検温・体調報告・行動記録）</p> <p>発熱症状があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・37.5℃以上の発熱が生じた場合は、自宅待機とし即座にBリーグへ報告してください。その際、パルスオキシメーターを使用し、手元で酸素飽和度のチェックを行い、支給する抗原定性キットを用いてスクリーニング検査を迅速に行ってください。【リーグ統一】 <p>（平熱には個人差があるため平熱が低い方は、平熱プラス1.5度を基準とします。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寮生活者の場合、寮内で隔離をしてください。 	<p>発熱症状発生時の対応を「2日間の継続発生」から、「発生初日」からへ改正し、パルスオキシメーターおよび抗原定性キットの使用を明示</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 選手は「ONE TAP」入力後クラブ体調管理者へ報告、クラブ体調管理者はパルスオキシメーターや抗原定性キットの結果を合わせてBリーグに報告してください。 	
<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(2) 選手および組織に求められる感染予防 (毎日の検温・体調報告・行動記録)</p> <p>症状があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱症状がなくても上記のような症状が続いた場合、特に「息苦しさ (呼吸困難)」、「強いだるさ (倦怠感)」等の強い症状が発生した場合は、自宅待機とし即座にBリーグへ報告してください。【リーグ統一】 寮生活者の場合、寮内で隔離をしてください。 選手はクラブ体調管理者へ、クラブ体調管理者はBリーグに報告してください。 	<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(2) 選手および組織に求められる感染予防 (毎日の検温・体調報告・行動記録)</p> <p>疑い症状があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱症状がなくても上記のような症状が発生した場合、即座にBリーグへ報告してください。特に「息苦しさ (呼吸困難)」、「強いだるさ (倦怠感)」等の強い症状が発生した場合は、自宅待機とし、すぐにその後の相談や検査に移行して下さい。疑い症状が生じた場合は、パルスオキシメーターを使用し、手元で酸素飽和度のチェックを行い、支給する抗原定性キットを用いてスクリーニング検査を迅速に行ってください。【リーグ統一】 寮生活者の場合、寮内で隔離をしてください。 選手はクラブ体調管理者へ、クラブ体調管理者はBリーグに報告してください。 	<p>疑い症状発生時の対応を「症状が続いた場合」から、「症状が発生した場合」へ改正し、パルスオキシメーターおよび抗原定性キットの使用を明示</p>
<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(2) 選手および組織に求められる感染予防 (毎日の検温・体調報告・行動記録)</p> <p>③毎日の行動記録</p> <p>選手等のリーグ関係者に、感染確定例、陽性判定例、濃厚接触者が出たときに備え、毎日の行動記録を必ずメモしておきましょう。感染拡大防止の対策を行う際に、とても重要な情報となります。</p>	<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(2) 選手および組織に求められる感染予防 (毎日の検温・体調報告・行動記録)</p> <p>③毎日の行動記録</p> <p>選手等のリーグ関係者に、感染確定例、陽性判定例、濃厚接触者が出たときに備え、毎日の行動記録を必ずメモしておきましょう。感染拡大防止の対策を行う際に、とても重要な情報となります。この時、特にマスクを着用せずに接触した人や、マスクを着用していたとしても周囲1m以内で5分以上会話した人がいる場合は、その人を特定できる情報を必ず記載してください。</p>	<p>行動記録の記載において、感染リスクの生じやすいケースについての記載を補完</p>
<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(4) 症状がある場合の相談や医療</p> <p>④検査方法と実施判断</p> <p>選手、チーム・スタッフに新型コロナウイルスの感染疑い症状が出た、もしくは無症状ながら検査の必要性が生じた場合の検査実施判断は、厚生労働省が示す「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針第3版」に基づき、チームドクター、各自治体が公表している相談・医療の情報や受診・相談センター、医療機関等と相談しながら決定してください。</p> <p>なお、症状の有無や検査方法ごとに確定診断としての採用可否は下図の通り解釈されていますが、国内の感染状況によっては早めの検査実施による速やかなスクリーニングの必要性や、周囲の感染対策への影響に鑑み、PCR検査だけでなく抗原検査についても前向きに検討・実施すること。</p>	<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(4) 症状がある場合の相談や医療</p> <p>④検査方法と実施判断</p> <p>選手、チームスタッフに新型コロナウイルスの感染疑い症状が出た、もしくは無症状ながら検査の必要性が生じた場合の検査実施判断は、厚生労働省が示す「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針第4版」に基づき、チームドクター、各自治体が公表している相談・医療の情報や受診・相談センター、医療機関等と相談しながら決定してください。</p> <p>なお、症状の有無や検査方法ごとに確定診断としての採用可否は下図の通り解釈されていますが、国内の感染状況によっては早めの検査実施による速やかなスクリーニングの必要性や、周囲の感染対策への影響に鑑み、PCR検査だけでなく抗原検査についても前向きに検討・実施すること。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種後も、感染の可能性はゼロではないため、接種後の症状発生時にも適切な相談と検査実施を行うよう、留意してください。</p>	<p>確定診断に用いられる検査方法の変化についての改正と、ワクチン接種後の留意事項を記載</p>

<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が出た場合のレギュレーション</p> <p>①PCR検査で陽性反応が出た方の復帰タイミング</p> <p>完治診断については、厚生労働省の示す「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて(一部改正)」(令和2年2月6日健感発 0206 第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知)に従うこととします。</p> <p>なお、完治診断時に医師や保健師から申し送りされる事項については、必ず手元で記録しておいてください。統一検査における陽性リスク等が指摘される場合も、これを必ず記録して下さい。</p> <p>また、完治後の復帰タイミングは、症状の有無および程度により後遺障害への措置要否が一律ではないため、チームドクターと主治医もしくは、チームドクターか主治医の判断によって決定してください。</p> <p>※次項の復帰フローを参照ください。</p>	<p>2. 新型コロナウイルスの感染を予防する</p> <p>(7) 新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が出た場合のレギュレーション</p> <p>①PCR検査で陽性判定が出た方の復帰タイミング</p> <p>完治診断については、厚生労働省の示す「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて(一部改正)」(令和2年2月6日健感発 0206 第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知)に従うこととします。</p> <p>なお、完治診断時に医師や保健師から申し送りされる事項については、必ず手元で記録しておいてください。統一検査における陽性リスク等が指摘される場合も、これを必ず記録して下さい。</p> <p>また、完治後の復帰タイミングは、症状の有無および程度により後遺障害への措置要否が一律ではないため、チームドクターと主治医もしくは、チームドクターか主治医の判断によって決定してください。その際、一般社団法人日本臨床スポーツ医学会の「COVID-19罹患後のスポーツ復帰指針(1.1版)」を参照の上、重症度と懸念される後遺障害も踏まえ、選手の意思を尊重しながら判断するように配慮してください。</p>	<p>罹患後の復帰判断について、参照すべき後遺障害についての記載を追加</p>
---	--	---

CHAPTER 2

改正前	改正後	主旨
<p>(3) トレーニングや練習前の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・到着時に体温チェックを行い発熱(CHAPTER 1・(2)・①参照)がある方は帰宅させてください。 ・練習やトレーニングを始める前に手洗いや手指消毒を行ってください。 ・使用するエリアの共有部分(不特定多数の人が触れている部分・物)などの消毒のタイミングは、「練習前」「練習間(セッションの間)」「練習後」に行ってください。 ・ジム施設の器具等は使用のたびに消毒してください。 ・ボールの消毒はアルコールを布に含ませて表面を軽く拭いてください。 ・ドリンクボトルの共用およびアイスボックスへのチーム単位での保管は行わないでください。 ・トレーニングや練習開始前に換気のため、扉は極力開放してください。 ・ロッカーの共用は避けてください。 	<p>(3) トレーニングや練習前の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・到着時に体温チェックを行い発熱等の疑い症状(CHAPTER 1・(2)・①参照)がある方は帰宅させてください。 ・練習やトレーニングを始める前に手洗いや手指消毒を行ってください。 ・使用するエリアの共有部分(不特定多数の人が触れている部分・物)などの消毒のタイミングは、「練習前」「練習間(セッションの間)」「練習後」に行ってください。 ・ジム施設の器具等は使用のたびに消毒してください。 ・ボールの消毒はアルコールを布に含ませて表面を軽く拭いてください。 ・ドリンクボトルの共用およびアイスボックスへのチーム単位での保管は行わないでください。 ・トレーニングや練習開始前に換気のため、扉は極力開放してください。 ・ロッカーの共用は避けてください。また、ロッカー内でもマスクを着用し、会話を極力控えてください。 ・特にロッカー内は密集を回避しづらい環境のため、常に扉の開放や空調稼働により換気に努めてください。 ・換気の方法は、法令を遵守した空調設備による常時換気か、こまめな換気(1時間に2回以上、かつ、1回に5分以上、又は常時換気。寒冷な場合は室温が下がらない範囲で常時窓開けするなど工夫する)を行い、乾燥する場合は、湿度40%以上を目安に加湿してください。 	<p>感染リスクの生じやすいシーンとしてロッカーでの対策を追加</p>

<p>(5) 練習後のケアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワーの兼用は避けてください。 ・個別の仕切りがないシャワーは一個ずつ間隔を空けて使用することを原則とします。人数が多いときは時間をずらして使用し、人と人の間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保してください。 ・アイスバスは対面とならないよう、一人ずつもしくは少人数で使用。身体的な距離(できるだけ2m、最低1m)を保ち、顔の粘膜を不用意に触ることがないように注意してください。定期的に水槽の水を入れ替え、清掃を徹底してください。風呂水専用塩素剤等の使用も検討してください。 ・サウナの使用は禁止してください。 ・ロッカーの使用は時間差での使用を行う、など密集を作らないように使用してください。 ・トリートメントは少人数で行い、トリートメントルームでの順番待ちは行わないでください。 ・トレーナーやマッサージはマスクを着用し、事前に手洗い、手指消毒を行ってください。また使用するリネンの共有は避け、マッサージベット等の消毒を行ってください。 ・トレーナーやマッサージにおけるトリートメント時は、受ける側も一人ずつ手洗い、消毒を行ってください。 ・激しい運動の後は免疫機能の低下も報告されています。特にトレーニングや練習の後は意識して感染予防に配慮してください。 	<p>(5) 練習後のケアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワーの兼用は避けてください。また、使用前後にシャワールームは流水で流すようにしてください。 ・個別の仕切りがないシャワーは一個ずつ間隔を空けて使用することを原則とします。人数が多いときは時間をずらして使用し、人と人の間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保してください。 ・アイスバスは対面とならないよう、一人ずつもしくは少人数で使用。身体的な距離(できるだけ2m、最低1m)を保ち、顔の粘膜を不用意に触ることがないように注意してください。定期的に水槽の水を入れ替え、清掃を徹底してください。風呂水専用塩素剤等の使用も検討してください。 ・サウナの使用は禁止してください。 ・ロッカーの使用は時間差での使用を行うことや、予め間隔を開けた配置を行うなど密集を作らないように使用してください。 ・トリートメントは少人数で行い、トリートメントルームでの順番待ちは行わないでください。 ・トレーナーやマッサージはマスクを着用し、事前に手洗い、手指消毒を行ってください。また使用するリネンの共有は避け、マッサージベット等の消毒を行ってください。 ・トレーナーやマッサージにおけるトリートメント時は、受ける側も必ずマスクを着用し、一人ずつ手洗い、消毒を行ってください。 ・激しい運動の後は免疫機能の低下も報告されています。特にトレーニングや練習の後は意識して感染予防に配慮してください。 	<p>感染リスクの生じやすいシーンとして、ロッカーおよびマッサージ時の対策を追加</p>
<p>(9) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手およびスタッフの衣類をまとめて洗濯する場合は、直接衣類に触れないように手袋の着用、また、飛沫が飛ばないようにマスクを着用して行ってください。 	<p>(9) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手およびスタッフの衣類をまとめて洗濯する場合は、直接衣類に触れないように手袋の着用、また、飛沫が飛ばないようにマスクを着用して行ってください。 ・トイレの使用に際しては、石鹼(ポンプ型が望ましい)を用意し、ペーパータオルなどを設置し、タオル類の共用は禁止とします。 ・ゴミの廃棄の際には、鼻水や唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋などを着用してください。また、マスクや手袋を脱いだ後は必ず流水で手を洗ってください。 	<p>感染リスクの生じやすいシーンとして、トイレの使用やゴミの廃棄方法について追加</p>

CHAPTER 3

改正前	改正後	主旨
<p>(2)、(3)、(4)、(5)および(6)共通 ※記載なし</p>	<p>(2)、(3)、(4)、(5)および(6)共通 ※記載なし マスクを必ず着用し、会話を控えてください。</p>	<p>「個人単位で予防対策をしてください」の記載に追加し、補完</p>



<p>(7) チームでの食事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手の席間は身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を確保してください。向かい合わせの配席は不可とします。十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらすなどの対応をお願いします。 ・食事は基本的に一人ずつ取り分けた状態で用意するようにしてください。 ・ピュッフェ形式は極力避けてください。取り分けする人を固定し、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する等の場合に限り、許容します。 ・食事中、宿泊施設の方は極力同じスペースにいないようお願いしてください。片付けはチームが退出したあとに行ってください。 	<p>(7) チームでの食事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手の席間は身体的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を確保してください。向かい合わせの配席は不可とします。アクリル板設置についても、適宜検討して下さい。十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらすなどの対応をお願いします。 ・食事は基本的に一人ずつ取り分けた状態で用意するようにしてください。 ・ピュッフェ形式は極力避けてください。取り分けする人を固定し、大皿に唾液が飛ぶような会話などないよう留意する等の場合に限り、許容します。 ・食事中、宿泊施設の方は極力同じスペースにいないようお願いしてください。片付けはチームが退出したあとに行ってください。 ・食事する時以外はマスクを着用し、マスクを外した際には会話を控えてください。また、着用時においても最低限に抑えてください。 	<p>マスク着用の追加記載と、マスクを外した際の会話を控えることを追加</p>
---	---	---